

# 概 況

## ○品目別の出荷額等の動向（従業者4人以上の事業所）

### （1）品目別産出事業所数

－産出事業所数が最も多い品目は「オフセット印刷物（紙に対するもの）」－

品目別の産出事業所数をみると、「オフセット印刷物（紙に対するもの）」（7,340事業所）が最も多く、次いで「その他の製缶板金製品」（3,645事業所）、「その他の製造食料品」（3,157事業所）、「生コンクリート」（2,682事業所）、「その他の建設用金属製品」（2,457事業所）、「金属工作機械の部分品・取付具・附属品」（2,443事業所）、「打抜・プレス機械部分品（機械仕上げをしないもの）」（2,363事業所）、「他に分類されない水産食料品」（2,222事業所）、「自動車用プラスチック製品」（2,217事業所）、「和生菓子」（2,208事業所）の順となっている。

これを都道府県別にみると、「オフセット印刷物（紙に対するもの）」は東京、大阪、愛知などに多く、この3都府県合計で産出事業所数の3割強を占め、「その他の製缶板金製品」は愛知、大阪、神奈川などに多く、この3府県で産出事業所数の3割弱を占めている（第1表）。

第1表 産出事業所数上位30品目の状況（平成28年、従業者4人以上の事業所）

順位 ( )内は平成26年	品目名称	産出事業所数		主な都道府県		
		平成26年差	第1位	第2位	第3位	
1(1)	オフセット印刷物（紙に対するもの）	7,340	296	東京	大阪	愛知
2(2)	その他の製缶板金製品	3,645	▲292	愛知	大阪	神奈川
3(3)	その他の製造食料品	3,157	▲29	愛知	北海道	埼玉
4(4)	生コンクリート	2,682	▲17	北海道	愛知	埼玉
5(5)	その他の建設用金属製品	2,457	▲101	大阪	埼玉	北海道
6(6)	金属工作機械の部分品・取付具・附属品	2,443	47	愛知	大阪	静岡
7(8)	打抜・プレス機械部分品（機械仕上げをしないもの）	2,363	51	愛知	大阪	埼玉
8(10)	他に分類されない水産食料品	2,222	▲19	北海道	静岡	宮城
9(9)	自動車用プラスチック製品	2,217	▲83	愛知	静岡	群馬
10(7)	和生菓子	2,208	▲124	新潟	北海道	京都
11(12)	建具（金属製を除く）	2,120	207	愛知	北海道	福岡
12(11)	段ボール箱	1,971	▲112	大阪	愛知	埼玉
13(15)	和風めん	1,855	101	長崎	兵庫	香川
14(17)	その他の自動車部品（二輪自動車部品を含む）	1,846	113	愛知	静岡	埼玉
15(14)	プレス用金型	1,835	▲9	愛知	大阪	静岡
16(13)	鉄骨	1,792	▲114	愛知	大阪	北海道
17(28)	看板、標識機、展示装置（電氣的、機械的でないもの）	1,782	353	大阪	東京	愛知
18(16)	板類	1,672	▲63	北海道	熊本	大分
19(19)	プラスチック用金型	1,638	▲51	愛知	大阪	埼玉
20(18)	洋生菓子	1,602	▲106	北海道	愛知	大阪
21(22)	そう（惣）菜	1,584	12	北海道	兵庫	静岡
22(24)	木製棚・戸棚	1,581	74	福岡	埼玉	愛知
23(26)	他に分類されない生産用機械器具の部分品・取付具・附属品	1,574	105	愛知	大阪	静岡
24(27)	金属加工機械の部分品・取付具・附属品	1,553	95	愛知	大阪	東京
25(25)	その他の建築用金属製品	1,508	28	大阪	埼玉	東京
26(23)	その他の工業用プラスチック製品	1,503	▲43	愛知	埼玉	大阪
27(21)	ひき角類	1,502	▲109	北海道	熊本	三重
28(20)	ひき割類	1,443	▲185	北海道	熊本	大分
29(30)	シャシー部品、車体部品	1,440	70	愛知	静岡	神奈川
30(32)	その他の木製家具（漆塗りを除く）	1,419	87	愛知	静岡	埼玉

注1：産出事業所数が同じ場合は、出荷額の多い都道府県を上位としている。

注2：くず・廃物・副産物品目を除外している。以下、同じ。

## (2) 品目別出荷額

### －出荷額が最も多い品目は普通自動車（気筒容量 2000ml を超えるもの）（シャシーを含む）－

品目別の出荷額をみると、輸送用機械器具の「普通乗用車（気筒容量 2000ml を超えるもの）（シャシーを含む）」（10 兆 519 億円）、「その他の自動車部品（二輪自動車部品を含む）」（6 兆 7251 億円）、「駆動・伝導・操縦装置部品」（6 兆 3925 億円）、「軽・小型乗用車（気筒容量 2000ml 以下）（シャシーを含む）」（4 兆 1624 億円）、「シャシー部品、車体部品」（3 兆 9473 億円）、「自動車用内燃機関の部分品・取付具・附属品」（3 兆 7868 億円）、「トラック（けん引車を含む）」（3 兆 3405 億円）や石油製品・石炭製品の「ガソリン」（5 兆 6368 億円）、「軽油」（2 兆 1752 億円）、化学工業製品の「医薬品製剤（医薬部外品製剤を含む）」（6 兆 9107 億円）、印刷・関連商品の「オフセット印刷物（紙に対するもの）」（3 兆 735 億円）といった品目が品目別出荷額の上位を占めている（第 2 表）。

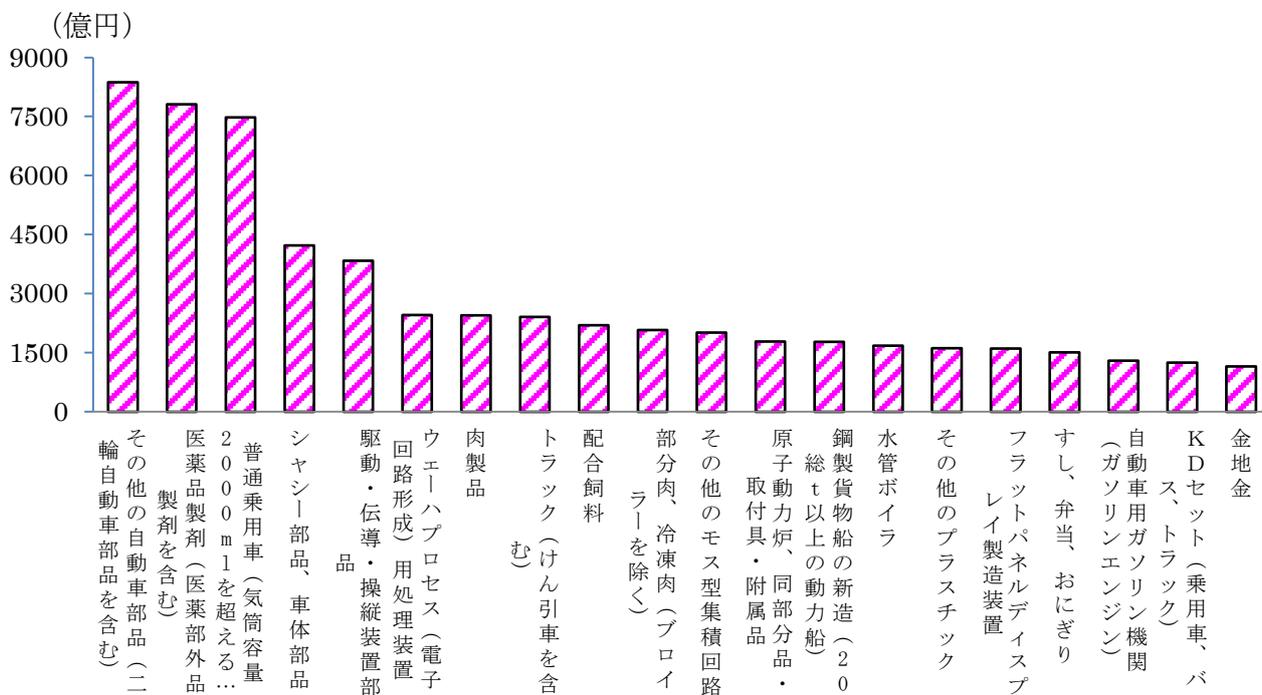
第 2 表 品目別出荷額上位 30 品目の状況（平成 27 年、従業者 4 人以上の事業所）

順位 ( )内は前年	品目名称	出荷額		主な都道府県		
		(百万円)	前年比(%)	第1位	第2位	第3位
1 ( 1 )	普通乗用車（気筒容量2000mlを超えるもの）（シャシーを含む）	10,051,856	8.0	愛知	福岡	群馬
2 ( 3 )	医薬品製剤（医薬部外品製剤を含む）	6,910,731	12.8	埼玉	大阪	滋賀
3 ( 5 )	その他の自動車部品（二輪自動車部品を含む）	6,725,082	14.2	愛知	静岡	広島
4 ( 4 )	駆動・伝導・操縦装置部品	6,392,509	6.4	愛知	静岡	群馬
5 ( 2 )	ガソリン	5,636,811	▲ 11.6	神奈川	千葉	大阪
6 ( 6 )	軽・小型乗用車（気筒容量2000ml以下）（シャシーを含む）	4,162,445	▲ 10.5	静岡	三重	岩手
7 ( 8 )	シャシー部品、車体部品	3,947,331	12.0	愛知	神奈川	群馬
8 ( 7 )	自動車用内燃機関の部分品・取付具・附属品	3,786,839	0.9	愛知	群馬	静岡
9 ( 9 )	トラック（けん引車を含む）	3,340,456	7.8	愛知	神奈川	三重
10 ( 10 )	オフセット印刷物（紙に対するもの）	3,073,516	0.7	東京	埼玉	大阪
11 ( 11 )	軽油	2,175,235	▲ 27.9	千葉	神奈川	大阪
12 ( 12 )	たばこ	2,081,288	1.8	栃木	京都	静岡
13 ( 13 )	鉄鋼切断品（溶断を含む）	1,908,781	0.2	愛知	大阪	千葉
14 ( 15 )	自動車用プラスチック製品	1,863,272	5.0	愛知	群馬	静岡
15 ( 14 )	鋼帯	1,700,273	▲ 9.3	広島	大分	茨城
16 ( 16 )	他に分類されない電子部品・デバイス・電子回路	1,661,809	0.5	石川	秋田	長野
17 ( 21 )	部分肉、冷凍肉（プロイラーを除く）	1,573,355	15.2	鹿児島	北海道	埼玉
18 ( 17 )	その他の製造食料品	1,557,320	5.7	茨城	大阪	埼玉
19 ( 22 )	鋼製貨物船の新造（20総t以上の動力船）	1,492,797	13.5	広島	愛媛	長崎
20 ( 18 )	液晶パネル	1,472,029	0.3	三重	大阪	千葉
21 ( 24 )	KDセット（乗用車、バス、トラック）	1,389,759	9.9	愛知	静岡	広島
22 ( 20 )	懸架・制動装置部品	1,371,501	▲ 1.4	愛知	埼玉	岐阜
23 ( 23 )	ショベル系掘さく機	1,367,281	5.1	茨城	大阪	広島
24 ( 25 )	内燃機関電装品の部分品・取付具・附属品	1,276,631	2.1	静岡	三重	愛知
25 ( 32 )	すし、弁当、おにぎり	1,257,648	13.6	千葉	神奈川	埼玉
26 ( 28 )	段ボール箱	1,222,345	0.7	愛知	埼玉	大阪
27 ( 42 )	配合飼料	1,219,451	22.0	鹿児島	茨城	愛知
28 ( 35 )	自動車用ガソリン機関（ガソリンエンジン）	1,211,066	12.1	愛知	神奈川	静岡
29 ( 29 )	生コンクリート	1,198,731	0.0	東京	神奈川	埼玉
30 ( 45 )	その他のモス型集積回路	1,186,269	20.5	広島	岡山	長崎

品目別出荷額の前年比をみると、1774品目に対し、出荷額が増加した品目数は1084品目（全品目の61.1%）、減少した品目数は690品目（同38.9%）となっており、出荷額が増加した品目数が、出荷額が減少した品目数を上回っている。

出荷額が増加した品目をみると、輸送用機械器具の「その他の自動車部品（二輪自動車部品を含む）」（対前年増加額8372億円）、「普通乗用車（気筒容量2000mlを超えるもの）（シャシーを含む）」（同7478億円）、「シャシー部品、車体部品」（同4230億円）や食料品の「肉製品」（同2453億円）、「部分肉、冷凍肉（ブロイラーを除く）」（同2078億円）、「すし、弁当、おにぎり」（同1509億円）、化学工業製品の「医薬品製剤（医薬部外品製剤を含む）」（同7816億円）といった品目が上位を占めている（第1図）。

第1図 品目別出荷額対前年増加額上位20品目（平成27年－26年）  
（従業者4人以上の事業所）



注：グラフ中の品目名称は、一部省略して表記している。以下、同じ。

一方、出荷額が減少した品目をみると、石油製品・石炭製品の「軽油」（対前年減少額▲8430億円）、「ガソリン」（同▲7378億円）、「B重油、C重油」（同▲5074億円）や輸送用機械器具の「軽・小型乗用車（気筒容量2000ml以下）（シャシーを含む）」（同▲4862億円）、鉄鋼の「鉄スクラップ加工処理品」（同▲2562億円）といった品目が上位となっている（第2図）。

第2図 品目別出荷額対前年減少額上位20品目（平成27年－26年）  
（従業者4人以上の事業所）

